

## 「校歌」

2014年05月18日

「東京新聞」の17日（土）の「筆洗」に校歌について書いていた。興味深く、調べてみた。岩手県釜石市の釜石小学校の校歌は井上ひさし氏が作詞した歌だそうである。

- ① いきいき生きる いきいき生きる／ひとりで立って まっすぐ生きる／困ったときは 目をあげて／星を目あてに まっすぐ生きる／息あるうちは いきいき生きる
- ② はっきり話す はっきり話す／びくびくせずに はっきり話す／困ったときはあわてずに／人間について よく考える／考えたなら はっきり話す
- ③ しっかりつかむ しっかりつかむ／まことの知恵を しっかりつかむ／困ったときは 手を出して／ともだちの手を しっかりつかむ／手と手をつないで しっかり生きる

校歌は、風光明媚な自然を歌い、体を鍛え、勉学に励む、そして、学校名の連呼が通常だろうが、井上氏が作詞した歌は全く違う。

福島県いわき市の郷ヶ丘小学校の校歌は、詩人の谷川俊太郎氏が作詞したそうである。

- ① かんがえるのっておもしろい／どこかとおくにくみたい／知らないけしきが見えてきて／そらのあおさがふかくなる／このおかのうえこのきょうしつは／みらいにむかってとんでいる
- ② なかよくするってふしぎだね／けんかするのもいいみたい／知らないきもちがかくれてて／まえよりもっとすきになる／このおかのうえこのがっこうは／みんなのちからだでそだってく／ああ 郷ヶ丘小学校

我が家の窓から、擁護学校の校庭が見える。毎日、運動会の練習をしていたが、昨日が運動会であった。朝から、元気な声が響いていた。声につられて、観に行った。子どもたちは皆、個性を持ち、自分自身を表わしている。その不揃いが何とも楽しかった。だから、勝った負けたに関係ない。この学校の校歌は、校歌制定委員会作詞で、下記の通りである。

- ① みどりの風が とびらたいたたら／さあとびだそう 陽ざしのなかへ／両手を広げて／大空を ぎゅっとつかもう／明日がキラキラ／すぐそこで光ってるから
- ② てのひらの上 みんながもってる／にじ色のゆめ かなえにゆこう／鳥たちの声に／ゆれているひまわり畑／笑顔のあいだに／未来への道が続くよ
- ③ 歩くはやさはちがっていても／それがあなたで それがわたし／手と手をつないで／伸びやかに心豊かに／自分を信じて／生きてゆこう 今この時を／（ウララ…）

校歌に対する認識が変わった。地域の賛美や奮闘努力ではなく、自分を見つめて立つ、そして他者と共にある歌である。私の小学校の校歌はなかったように思う。記憶にない。中学校はあったが、他校に吸収されて廃校になった。高校は、珍しく甲子園に出場したが、一回戦で敗退し、校歌を聞くことはできなかった。卒業した神学校の校歌は、今は歌いたくない気持ちである。